

令和3年度（第1回）二宮町文化財保護委員会 会議録

日 時 令和3年7月14日（水） 13:30～15:00

場 所 二宮町生涯学習センターラディアン ミーティングルーム1

出席者 （文化財保護委員） 鈴木一男副委員長、杉山幾一委員、
島崎直人委員、古宮雅明委員

（事務局） 森教育長、黒石教育部長、
加藤生涯学習・スポーツ班長
有賀主事、中山会計年度任用職員

傍聴者 なし

資 料 （1）令和3年度文化財保護関係事業及び予算について【資料1】
（2）『ふるさと再発見8』の出版について【資料2】

1、開会

2、教育長挨拶

3、副委員長挨拶

4、議題

（1）令和3年度文化財保護関係事業及び予算について

※事務局より資料に基づいて説明

（委 員） 平台遺跡の遺物が寄贈されたとのことですが、平台遺跡というのはどのような遺跡なのでしょう。

（委 員） かつては東保園と呼ばれていたところで、昭和40年代に建物が建つ際発掘された、縄文時代中期の遺跡です。縄文海進のいわばシーサイドにあたる場所で、イルカやクジラの骨が出ています。斜面からは投棄されたと思われる大量の遺物が出土した他、祭祀的な意味をもつ配石遺構が確認されました。住居址は発見されませんでした。

（委 員） 平台遺跡の遺物は全部町で保管しているのですか。

（委 員） 発掘調査終了後に平塚市博物館に移された、というように聞いていますが。

（事務局） 今回寄贈された遺物以外に、土器など数箱を保管しています。平塚市博物館にあるかどうかは把握していませんので、確認します。

（委 員） 土器や石器はどこで保管されているのですか。

（事務局） 以前は3か所に分けて保管していたのですが、今年度のはじめに台帳を整理し、遺物は町民運動場のコンテナにまとめて保管しています。

- (委 員) 遺物の置き場については学校の空き教室を利用するということではできないのでしょうか。
- (教育長) 学校は職員も変わりますし、いろいろな人の出入りもあります。教室には鍵をかけて管理をしないと安全に保管ができないと思うのですが、教室の移動などもあり、それは難しいかもしれません。
- (委 員) 遺物は発掘があれば増えていきますし、これまでに県や業者が発掘したものも返還されるでしょうから、今後保管場所については考えておく必要があります。
- (委 員) 遺物の活用という面ではどのようになっていますか。
- (事務局) 土器などをガラスケースで展示したり、出土場所不明の土器や石器などは、小学生が授業でラディアンを訪れた際に、自由に触ってもらうこともあります。そうすると小学生はとても興味を持ってくれます。
- (委 員) 現在、学校で土器などの展示は行っていないのですか。
- (事務局) 行っていないと思います。
- (委 員) 石器は破損の心配が少ないので、学校に展示するなど教育利用ができませんか。
- (事務局) できると思います。また以前南極の石が寄贈された際、プラスチックケースに石を入れ、キャプションをつけて学校に貸し出したことがありましたが、このようなやり方も可能です。
- (委 員) 保存と活用、両面を考えていければ良いですね。
- (委 員) 話しは変わりますが、新たな指定文化財の候補にあがっているものはありますか。
- (事務局) 今のところ、地区などから推薦されている文化財はありません。

(2) 『ふるさと再発見8』の出版について

※事務局より資料に基づいて説明

- (委 員) 『ふるさと再発見』のシリーズは気軽に読める本なので、埋蔵文化財の報告書は別に出版し、『ふるさと再発見』ではこれまでの発掘の成果をわかりやすくまとめたものを載せるほうが良いでしょう。
- (委 員) 内容は埋蔵文化財のことだけでなく、「大地に眠る二宮の歴史」というようにすれば、テーマも広がります。
- (事務局) ご助言ありがとうございます。出版は来年度を計画しています。出版することで多くの方々に二宮の歴史や文化を知ってもらえればと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

5、閉会 15時